

36 ラブストーリー

場面：ラジオドラマ (恋愛)

状況：大学生同士の出会いの物語。ナレーションあり

登場人物：A (女性、ナレーター)

B (大学2年生の女性 (マナ))

C (大学3年生の男性)

(カフェ内の雑音)

A：ここは大学の近くのカフェ。マナは毎週、大学の授業の後、このカフェで勉強している。そして、となりの席には、いつも同じ人が座って、ノートパソコンを使って勉強している。

マナはいつもその人を見て

B：「いつかこの人と話してみたい」

A：そう思っていた。でも、知らない人と話すのはちょっと恥ずかしいし、何を話せばいいかもわからないし…と、マナはいつも、思っていた。そんなある日…

(喫茶店の音、コップが床に落ちる音)

B：あっ！コップが…！すみません！！汚れませんでしたか？

C：あ、いえ。大丈夫です。…あの、いつもここで勉強してますよね？

B：えっ！あっ！はい！！

C：さくら大学の学生ですか？

B：はい。あなたも？

C：うん、さくら大の3年生です。

B：私は2年生です。あの、前から話してみたいなって思ってたんです。

C：あ、じつは、僕も！

A：それから、二人は毎週このカフェで一緒に話したり、勉強したりした。約束をしているわけじゃないのに、毎週ここで会って、楽しい時間を過ごすようになった。

そして、2か月後…

C：あの…実は、今日でこのカフェに来るの、たぶん最後なんだ。来週からはゼミが忙しくなって、来られないんだ…。

B：えっ…そうなんですか…。

A：せっかく仲良くなれたのに、もう会えなくなるかもしれない—

そう思ったマナは、勇気を出して、言った。

B：あの…じゃあ、連絡先、聞いてもいいですか？

C：あっ、もちろん。僕も、聞きたかったんだ。

(BGM：明るい音楽)